

令和5年度県立中井やまゆり園の重点取組課題

目 標	取組課題	取組内容
1 当事者目線の障がい福祉を实践する「暮らしづくり、居場所づくり」	(1) 利用者の人となりをしっかりと理解し、利用者を語れるようになる	①利用者本人・相談支援事業所・自治体・家族等と一緒にになり、当事者目線の個別支援計画を作成 ②主体的・積極的なアドバイザー、コーディネーターの活用
	(2) 利用者が生活しやすい豊かな暮らしづくりに取り組む	①寮やホーム出入口の施錠の見直し ②利用者自治会活動の活性化 ③破損個所の迅速な改修や園内清掃の徹底など、生活環境の整備 ④利用者と職員と一緒に活動しながら（関わりながら）暮らしを作る取組みの推進（食事、外出、文化活動など）
	(3) 日中活動を中心とした生活支援を实践する	①利用者の望む暮らしの実現に向け、一人ひとりの日中活動をより充実させる（活動体制の柔軟な見直し等） ②利用者の暮らしが日中活動と寮で縦割りにならないような取組みの検討
	(4) 利用者の生活が園内で完結せず、地域とつながりを持って暮らしていけるよう、地域での居場所づくりに取り組む	①らっかせい（秦野駅前拠点）での活動が、地域を巻き込んだ活動内容となるよう取組みを進める ②地域の事業所、民間企業、地域住民等との連携、交流を進める中で居場所づくりに取り組む（コーディネーター事業他）
2 当事者目線の障がい福祉を实践する「地域づくり」	(1) 利用者の生活が園内で完結せず、地域とつながりを持って暮らしていけるよう、地域での居場所づくりに取り組む（再掲）	①らっかせい（秦野駅前拠点）での活動が、地域を巻き込んだ活動内容となるよう取組みを進める（再掲） ②地域の事業所、民間企業、地域住民との連携、交流を進める中で居場所づくりに取り組む（コーディネーター事業他）（再掲）
	(2) 市町村や民間事業所と連携したネットワークづくりに取り組む	①モニタリング会議等の内容充実に向けた取組み推進 ②県立保健福祉大学や、近隣の大学等との連携
3 当事者目線の障がい福祉を实践する「マネジメントの改善」	(1) 多職種で連携しながら、利用者一人ひとりのいのちを守る取組みを实践する	①事故発生時の徹底した原因分析（現場検証と再現、見守りカメラの活用）の実施 ②食事支援など、いのちの危険につながる場面への支援強化（PT・OT との連携など） ③PT・OT からの指示・助言等が、確実に利用者支援に反映される仕組みづくり ④利医療・福祉・調理の連携による、利用者の体調維持・管理の徹底
	(2) 風通しの良い組織を構築し、職員ひとり一人が働きやすい職場を目指す	①寮再編による「職員複数配置による支援技術の向上」等の評価と見直し ②心理担当職員を中心とした「グループミーティング」の継続実施及び「コアチーム会議」のような寮横断的な話し合いの場の設定 ③幹部職員のラウンドの頻回化や職員の思いや考え方を共有・共感する場の設定
	(3) 園内に留めず、積極的に外部の目を入れた振り返りを实践する	①園内外に向けた実践報告会の開催 ②障がい当事者との意見交換の実施 ③他事業所との交流研修の実施 ④見学者やボランティアの積極的な受入れ
4 当事者目線の障がい福祉を实践する「人材育成」	(1) 当事者団体との連携により、職員の意識改革を図る	①障がい当事者との意見交換の実施（再掲）
	(2) 必要な知識・技術の習得による支援力の向上を図る	①研修の充実 ②各セクションの取組み（好事例）を集約し、全職員に発信、共有できる仕組みづくりの構築
	(3) 民間施設等との交流により当事者目線の先駆的な取組みを学ぶ	①研他事業所との交流研修の実施（再掲）